２　特定第二種荷主

対象項目	措置の内容
運転者一人当たりの一回の運送ごとの貨物の重量の増加に関する措置	
運転者の荷待ち時間の短縮に関する措置	
運転者の荷役等時間の短縮に関する措置	

備考　特定第二種荷主は、Ⅱの他に実施した措置がある場合に記入すること。

Ⅳ　荷待ち時間等の状況等

１　荷待ち時間等の状況（特定第一種荷主）

１－１　荷待ち時間等の計測対象の選定の詳細について

選定の種類	選定の考え方等について
計測対象施設	自ら管理する施設の数：
計測対象期間	
計測対象運行	

備考　荷待ち時間等の計測について、サンプリングによる計測を行う場合、計測対象の最低値は以下のとおりとし、その選定方法や、計測対象を変更した場合における変更理由を「選定の考え方等について」に記載すること。

・対象施設：取り扱う貨物重量の半分程度を把握することを念頭に、特定荷主自身が管理する全ての施設から、年間において取扱貨物の重量が大きい施設又は実態を把握すべき施設
・対象期間：四半期ごとに任意の連続した５営業日以上（前年度の実績に照らして、各四半期中最も売上金額が低いと見込まれる月は対象外）
・対象運行：原則として対象施設で計測した全ての運行

１－２　計測対象施設の一覧

識別	施設の名称	施設の住所	計測手法（任意）

１－３　１回の受渡しに係る荷待ち時間等の計測結果

識別	１回の運送あたりの荷待ち時間等の平均時間（分）												
	種類	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	荷待ち時間												
	荷役等時間												
	荷待ち時間等												
	荷待ち時間												
	荷役等時間												
	荷待ち時間等												

備考

１　１－２の「施設の名称」の欄には、１－１の「選定の考え方等について」において「計測対象施設」の欄にて選定した計測対象施設について、施設の名称を記入すること。なお、欄が足りない場合には、欄の追加を行うこと。

２　１－２の「計測手法」の欄には以下①～⑤から該当する番号を選択して、記載すること（複数選択可）。

①到着時刻表示装置その他のシステム等により計測
②受付簿等により計測
③計測要員による記録により計測